

大きな災害が起きた時、 ごみはどのように出したらいいの？

大規模な災害が起きたときには、生活ごみと併せて大量の片付けごみが発生します。
一日でも早い災害復旧のために必要なことを、ごみ出しの視点から考えましょう。



出典：環境省災害廃棄物フォトチャンネル

注意

道路上にごみを出さないでください！

道路上にごみを出すと救急車や消防車などの緊急車両が通行できず、人命救助などに大きな支障が出ます。

こうなってしまうために…

**災害時こそ、分別をしっかりと行って
決められた場所に出してください**



災害時のごみ出し

ごみを出す場所

生活ごみ

普段の生活で出る生ごみなど
●可燃ごみ ●破砕ごみ ●資源物
●ペットボトル

通常のごみ集積場

・いつも使っているごみ集積場です
・生ごみ優先で出してください

片付けごみ

災害によって発生したごみのうち、家を片付けるときに出てくるもの
例：壊れた家具・家電、食器、畳、布団など

市民の一時集積場

災害の規模や範囲に応じて、近くの公園などの公共施設に臨時で設置します



南海トラフ地震が起きた場合、発生する災害廃棄物の推計量は本市が処理するごみの10年分(約100万t)に相当します。大量の災害廃棄物を迅速に処理するために、皆さんのご協力をお願いします。

災害廃棄物処理ハンドブックを
広報よっかいち本号と一緒に
全世帯へ配布します。
詳しくは、同ハンドブックを
確認してください。



●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は **生活環境課** ☎354-8192 FAX354-4412